



10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

当事者A	年齢[ 51 ]歳、勤続年数[ 28 ]年、現場経験年数[ 19 ]年、階級[ 消防司令補 ]、同様の活動 [ 1年に数度 ]、任務 [ 車長 ]
当事者B	年齢[ 32 ]歳、勤続年数[ 0.3 ]年、現場経験年数[ 12 ]年、階級[ 消防士長 ]、同様の活動 [ 1年に数度 ]、任務 [ 機関員 ]
当事者C	年齢[ 23 ]歳、勤続年数[ 0.3 ]年、現場経験年数[ 0.3 ]年、階級[ 消防士 ]、同様の活動 [ 初めて ]、任務 [ 隊員 ]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A	道路が狭隘であり、境界にはブロック塀、鉄パイプ等の障害物があることを視認し安全運転を指示	
経過 2	B	左折時に車両右側後部マーカランプが鉄パイプと接触	
経過 3	C	車両後部座席から右側後方の安全確認を行った	
経過 4	A	鉄パイプ及び車両の損傷程度の確認をした	
経過 5	A	付近の住民に状況を説明した。	
経過 6	A	上司に事故報告をした。	
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思いませんか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いませんか？

心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

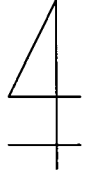
k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

その他

l . その他の理由があった。

--



# 現場図

